

留 学 報 告 書

記入日：2022年2月22日

氏名	氏名：和田 頌次郎
留学先国	ベトナム
留学先大学・学部 (和文及び英語)	(和) ベトナム国家大学ハノイ外国語大学 (英) University of languages and International Studies - Vietnam National University, Hanoi, Faculty of Japanese Linguistics and Culture
留学期間	2021年9月～2022年2月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	4年生(留学先大学で在籍した学年)
帰国年月日	2022年1月8日
明治大学卒業予定年月	2023年3月

留学費用項目	現地通貨(ドン)	円	備考
授業料	6000000 ドン	30000 円	ベトナム語の授業の費用
宿舍費	11400000 ドン	57500 円	寮：7500 円 アパート2か月：50000 円
食費	19850000 ドン	100000 円	滞在中を通しての食費
図書費			
学用品費	100000 ドン	5000 円	ベトナム語の教科書×2
教養娯楽費	12000000 ドン	60000 円	
被服費	4000000 ドン	20000 円	
医療費	500000 ドン	2500 円	PCR 検査費
保険費	11500000 ドン	57000 円	
渡航旅費	41982142 ドン	211134 円	
雑費	2000000 ドン	10000 円	
その他(到着時隔離ホテル費)	28000000 ドン	140000 円	
その他()			
合計	137332142 ドン	693134 円	

渡航関連

渡航経路	東京・成田空港 ～ ハノイ・ノイバイ空港 ハノイ・ノイバイ空港 ～ 東京・成田空港
渡航費用	チケットの種類 特別便 往路 129394 円 復路 81740 円 合計 211134 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

JAL

滞在形態関連

種類(留学中の滞在先)	大学の外国人学生寮：相部屋 自分の場合は中国人の学生と3人暮らしでした。コロナ禍のため、3人での共同生活でした。本来であれば6人ぐらいで暮らしやすいです。 アパート：一人暮らし
部屋の形態	<input type="checkbox"/> 個室 OR <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数：3)
住居を探した方法	

大学の学生寮：チューターの先生や生徒を通して、手続きをした。
アパート：大学の友達に何軒か探してもらい、それらを内見し、決めた。

感想（滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス）

大学の寮について

ハリポッターに出てくるような寮ではなく、日本の古びれたアパートを想像してもらえればいいと思います。網戸がないので、ネズミや虫、トカゲ、ヤモリが部屋に入ってき放題でした。自分はトカゲやヤモリは気にならなかったですが、蚊には神経を使いました。大学の購買で売っている蚊帳を購入したり、虫よけを使い、デング熱にかからないように気を付けました。ネズミは結構部屋に現れるので、そのたびにルームメイトと協力し、討伐しました。部屋に食べかけのものや生ゴミを放置しておくのは避けた方がいいです。またルームメイトとも衛生面において、価値観が異なり、互いに相談しました。それが気になる方は一人暮らしをお勧めします。また寮の部屋には、キッチンがないので、基本的に学食のようなところでご飯を食べるか、露店などで買ったものを持ち帰り食べるかのどちらかになります。自分は自炊しませんでした。

アパートについて（一人暮らし）

就活など周りが邪魔になることがあったので、一人暮らしをするために引っ越しました。滞在先の大学の友達に、何部屋か探してもらい、その中から選びました。寮よりはきれいなところでしたが、エアコンにネズミが住み着いており、夜に鳴き始め、良く寝付けなかったり、朝ネズミの鳴き声と共に起きたことが何度もありました。こちらはキッチンがありましたが、食べ物のにおいてネズミやゴキブリを部屋に入れたくないのと、一人暮らしの自炊は時間やコストなどに見合わないのと、自炊はしませんでした。（シンク周り、水道水もあまりきれいなものではありませんでした。）トイレが一度壊れたことがありました。管理人さんは英語が話せないのと、大学の友達に通訳してもらい、修理を頼みました。滞在する月日の家賃と1ヶ月分のデポジットを、最初に取りられるので、お金は多めに用意した方がいいでしょう。

気候について

自分がベトナムに滞在したのは、秋から冬にかけてでしたが、まだ暑かったです。10月～11月はまだ半そでで過ごしました。12月からは少し肌寒くなりましたが、長そで一枚で十分でした。また友達とバイクに二人乗りをするときに、風が直接当たるので、羽織る上着は一枚くらい持って行った方がいいと思います。前述したようにバイクに乗ると風が直接当たるのと、砂埃がひどいので目が乾燥します。そのため、車を利用するとき以外は眼鏡の方がいいと思います。部屋のエアコンは壊れていたので使えなく、寝苦しく目が覚めてしまったことも何度かありました。また、日本と異なり、大気汚染がひどいです。滞在数日で慣れましたが、マスクはコロナに関わらず身に着けていた方がよいとお勧めします。

生活について

Wi-Fiがつながりにくくなるが多々あったので、日中は基本的に近くのカフェで作業していました。大きなショッピングモールのトイレは基本的に綺麗です。ウォシュレットなどはもちろんないので、気になる人はウェットティッシュを持参した方がいいです。週末や暇な日は友達と出かけました。みんなフレンドリーで、話しかけてくれるので、すぐ仲良くなれました。友達にワールドカップの予選を観戦に連れて行ってもらったのはいい思い出の一つです。また現地の大学の先生に日本人の先生がいたので、週末は先生と紹介されたベトナムに駐在している日本人タッチラグビーチームの練習に参加しました。そこ以外では基本的に日本人の知り合いはできませんでした。帰国にあたり、寮に滞在していた時の、ルームメイトに挨拶しようと思ったら、コロナに感染していたため、会えませんでした。（寮ではコロナが流行っていたようです。）

現地情報

現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や附属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？

- 利用する機会がなかった
 利用した；PCR検査（大使館のホームページにあるものを利用しました。利用する際は自分だけでは不安だったので大学の友達に同伴してもらいました。）

学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

情コミ事務室に紹介された日本語のできる先生に相談していました。
滞在に慣れてきてからは友達に相談しました。

<p>現地の危機地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？</p> <p>危険なところなどは、友達に聞きました。コロナ禍ということもあり、あまり人出がなかった、またあまり遠出や危ないところには一人でいかなかったため、そのようなことはありませんでした。</p>
<p>パソコン、携帯電話、インターネット（接続について）現地での利用はいかがでしたか？</p> <p>天候によって、電波が悪くなることが多々ありました。町にある店はどこでも Wi-Fi が接続できました。ほとんどのところにコンセントがあったので、充電にも苦労しませんでした。寮や部屋で接続できないときは、スタバに行きました。滞在中に一回だけ、夜に Wi-Fi の通信電波を飛ばしているおもとが停電し、全く Wi-Fi が通じなくなりましたが、翌日には復旧していました。よくあることらしいので注意した方がいいです。</p>
<p>現地での資金調達はどのように行いましたか？</p> <p>クレジットのキャッシュ引き出し機能の設定ができていなく、日本から 10 万円持っていった現金を現地で両替をしたり、ディーコムというアプリを使って直接送金してもらった。口座開設には時間がかかるため。</p>
<p>現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。</p> <p>ドライアイあるいはコンタクトの方は目薬（特にコンタクト用の目薬は大きなショッピングモールなど行かなければ、手に入らないと思います）虫よけなど。</p>

進路について

<p>進路</p> <p><input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input checked="" type="checkbox"/> その他：就活予定</p>
<p>進路決定の際に参考にした資料、図書、期間など</p> <p>特になし</p>
<p>就職活動中・終了時に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書きください。</p> <p>別の大学で、別の国に留学している友達とボストンキャリアフォーラムなどのオンラインイベントやセミナーに参加しました。ボストンキャリアフォーラムに出店している企業は、4 年時に留学している人に対しても、採用募集していました。TOEIC を帰国する前に申し込み、帰国してすぐに受験しました。周囲の先輩やネットで調べたり、が中心でした。</p>
<p>進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。</p>
<p>進学を志す留学希望者に向けたアドバイス（準備、試験対策等）がありましたらお書きください。</p>
<p>その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書きください。</p>

次のページもあります↓

学習についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）	
留学先で取得した単位数合計（科目数）	本学で認定された単位数合計（科目数） ※該当項目にチェックのうえ、記入してください。
18 単位（6 科目）	<input checked="" type="checkbox"/> 15 単位（6 科目） <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません（理由： ）
以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスを含めてお書きください。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	

履修した授業科目名（留学先大学言語）	Language and Media
履修した授業科目名（日本語）	言語とメディア論
科目設置学部	英語学部
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	オンライン講義
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回
担当教員	Thuy Tran
授業内容	1 週目：先生が 90 分間は講義 90 分間はグループワーク 2 週目：90 分間は生徒たちが発表 90 分間は先生が講義
試験・課題など	プレゼン×2 クイズ形式の発表×1 ミニテスト×1 各授業後 課題
感想を自由記入	基本全部英語 皆優しいので、わからないことは質問すると快く返してくれた。資料もたくさんあったが、普段見ない世界の広告について知ることができた。 グループに分けられ、グループで協力して課題及びプレゼンに向けて準備をした。毎回の課題の答え合わせを授業の冒頭で行う。 また留学生である自分に対して、先生も少しは気を使ってくれた印象。

履修した授業科目名（留学先大学言語）	Presentation Skill
履修した授業科目名（日本語）	プレゼンスキル
科目設置学部	日本文化言語学部
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	オンライン
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回
担当教員	Hideharu Uchino
授業内容	先生がビジネスでのプレゼンのやり方を教えてくれる講義
試験・課題など	プレゼン×3
感想を自由記入	個人での発表が 1 回とグループでのプレゼンが 2 回 先生が日本人なので、基本日本語だが、グループの人とやり取りをするときは英語。自分は就活も近かったので、この講義を受けた。

履修した授業科目名（留学先大学言語）	Intercultural Communication
履修した授業科目名（日本語）	異文化コミュニケーション
科目設置学部	日本文化言語学部
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	オンライン 配布された教科書に沿って、進む
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回
担当教員	Hoang Trang
授業内容	配布された教科書に沿って、授業が進む。 不定期で課題が課される。日本語、ベトナム語半々
試験・課題など	グループ発表×2 中間レポート×1 期末レポート×1
感想を自由記入	異文化理解について、学ぶ授業。客観的に、日本の文化や価値観がベトナムの人からこのようにみられているのだなと知れた。グループの人との打ち合わせは基本英語。
履修した授業科目名（留学先大学言語）	Japanese Economy
履修した授業科目名（日本語）	日本経済
科目設置学部	日本語文化学部
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	オンライン
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回
担当教員	Bui Dinh Thang
授業内容	日本経済の歴史を学び、これからベトナムはどうすべきか、議論する授業。基本日本語。
試験・課題など	小テスト×3（日本語） 発表×1 期末レポート×1
感想を自由記入	先生の日本語がとても上手なことに驚いた。日本がどのようにみられているか知れた。英語で説明してみると無茶振りされたことも何度かあった。資料が配布される。
履修した授業科目名（留学先大学言語）	Economic Japanese Advanced
履修した授業科目名（日本語）	経済史
科目設置学部	日本語言語学部
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	オンライン

授業時間数	1週間に180分が1回
担当教員	Bui Dinh Thang
授業内容	これは世界の経済史を日本語の教科書に沿って、授業が進む。 グループでの発表がある。
試験・課題など	グループでの発表×1 期末レポート×1
感想を自由記入	授業の最終回に、ベトナムの学生たちとベトナムの経済発展について議論をするのは興味深かった。
履修した授業科目名（留学先大学言語）	Basic Vietnamese A
履修した授業科目名（日本語）	基礎 ベトナム語 A
科目設置学部	なし
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	1 単位認定
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	オンライン
授業時間数	1週間に90分が2回
担当教員	二人の現地の学生
授業内容	基礎ベトナム語を日本語の教科書を通して教えてもらう
試験・課題など	中間試験 期末試験
感想を自由記入	日本で教科書を購入してから、授業を受けた。 ただし習っただけでは、ベトナムでは通じなかった。発音が極めて難しく、先ず通じない。

次のページもあります↓

留学に関するタイムチャート

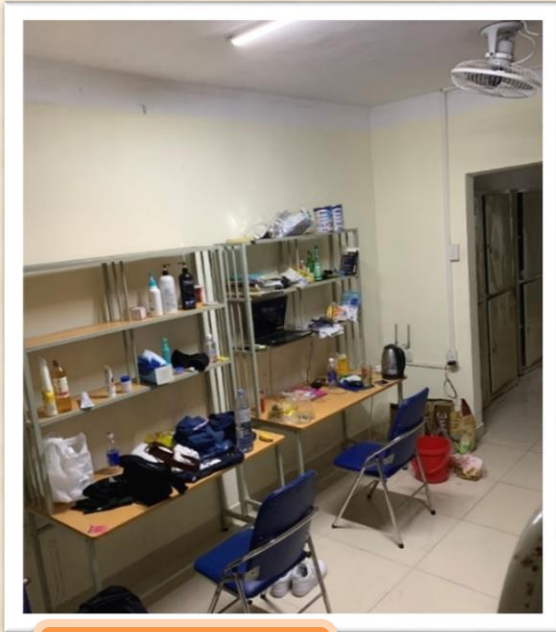
留学までの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関して発生した事項。

2021年 1月～3月	
4月～7月	明治の夏期授業を終える。 留学に行けると事務室から連絡がきた ビザの手続き、隔離ホテルの手配、保険証書の手配、海外保険の加入、飛行機の手配
8月～9月	引き続き ビザの手続き、隔離ホテルの手配、保険証書の手配、海外保険の加入、飛行機の手配 オンラインで滞在先の大学の授業が始まる。(～12月半ばまで) 渡航準備
10月～12月	渡航 到着後2週間の隔離 寮に入寮 就活関連のことを始める。 アパートに引っ越す テストが終わる(12月半ば) コロナが流行り始め、帰国便の手配をする
2022年 1月～3月	帰国 帰国後手続き 就活
4月～7月	明治の春学期の授業を受ける予定。 就活
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

<p>留学しようと決めた理由</p>	<p>日本の外に出て、世界とはどのようなものなのか、自分の肌で感じ、確かめると同時に日本は世界からどのようにみられているのか、客観的にみてみたいと思ったためです。また、現地の学生とコミュニケーションを取り、生活をしていく中で実践的に英語を学習したいと感じたため、このプログラムに応募しました。</p>
<p>留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備</p>	<p>自分の滞在先のベトナムは、英語圏ではありませんが、現地の学生はほとんどの人が英語が話せます。そのため、買い物など日常生活のほとんどを英語でやり取りしていました。また発音が難しいので自分のベトナム語は全く通用しませんでした。ベトナム語を向上させたいという方あるいは現地の方とコミュニケーションを取りたいという方は、日本にいるときに独学あるいは授業などの機会を利用し、ベトナム語を少し勉強していくことをお勧めします。</p>
<p>この留学先を選んだ理由</p>	<p>発展途上国での生活とはどのようなものなのか、日系企業などの外資企業の進出が著しいベトナムとはどのような国なのか興味がありました。また先進国に比べ、発展途上国では、不便な環境によるストレスが多発すると予想でき、そのような環境に対し、臨機応変に対応し、順応することで精神的な成長と社会に向けての広い視野を得られると考え、ベトナムを選びました。</p>
<p>大学・学生の雰囲気</p>	<p>学生はみんなフレンドリーでした。英語がとても上手なので、コミュニケーションを取ることで自分の英語力も、留学前と比べ、少しは向上したと思います。また現地の学生は、日本の学生と比べ、向上心が強く、とても勉強熱心でいつも勉強していました。</p>
<p>寮の雰囲気</p>	<p>自分は外国人寮に滞在していましたが、住んでいる外国人学生はみんなフレンドリーで、色々な国籍の友達ができました。ルームメイトに紹介してもらい、数珠つなぎで友達ができていきました。しかし、生活するうえでの衛生環境は良いとは言えないと思います（特に日本人からしたら）。また自分が帰国する際には、寮でコロナが流行っていたため、そのような点で入寮する際はよく考えて選択することをお勧めします。</p>
<p>交友関係</p>	<p>留学する前から、オンラインで授業があったり、自分の生活を支援してくれるチューターの方がいたため、渡航する前から友達は何人かいました。また日本人で留学する学生は珍しいみたいで、いろんな人が声をかけてくれました。ワールドカップの予選、日本とベトナムの試合をアウェイで見ることができたのは、とてもいい思い出です。</p>
<p>学習内容・勉強について</p>	<p>日本の大学と比べ、授業時間が長く、課題も多いです。平日は大体課題をやっていました。主にグループでの課題が多かったので、英語でやり取りをするのには骨が折れました。とても協力的で、課題は全部こなせることができました。</p>
<p>課題・試験について</p>	<p>前述したように、課題の量はとても多かったです。地道にやっておけば、楽に終わるので、ためすぎないことをお勧めします。</p>

<p>大学外の活動について</p>	<p>現地の大学に在籍していた日本人の講師の先生と仲良くしていただき現地に滞在している日本人のタッチラグビーのチームの練習に参加していました。 個人的に、日本語を勉強したいという学生に日本語を放課後など空いた時間を用い、教えていました。</p>
<p>ある平日のスケジュール</p>	<p>7時～14時：授業 14時：昼食 15時～19時：課題・就活関連（カフェで） 19時：夜ご飯 20時～23時：自由時間 24時：就寝</p>
<p>ある休日のスケジュール</p>	<p>9時：起床・朝食 10時～21時：友達と外出 就活関連など 22時：日本の友達と連絡する 24時：就寝</p>
<p>留学を志す人へ 「これを知っておいて欲しい」と思うこと</p>	<p>発展途上国のインフラは想像していたよりも、地方などはインフラ整備が進んでいなかったです。また出張などビジネスで滞在している日本人の方とは、生活環境（主に住居）が大きく違っていたため、不便な生活が新鮮であったと同時に苦勞も多かったため、覚悟をもって留学することをお勧めします。また留学している際は、いろいろ機会を自分から探し、行動することを強くお勧めします。</p>



大学の外国人学生寮



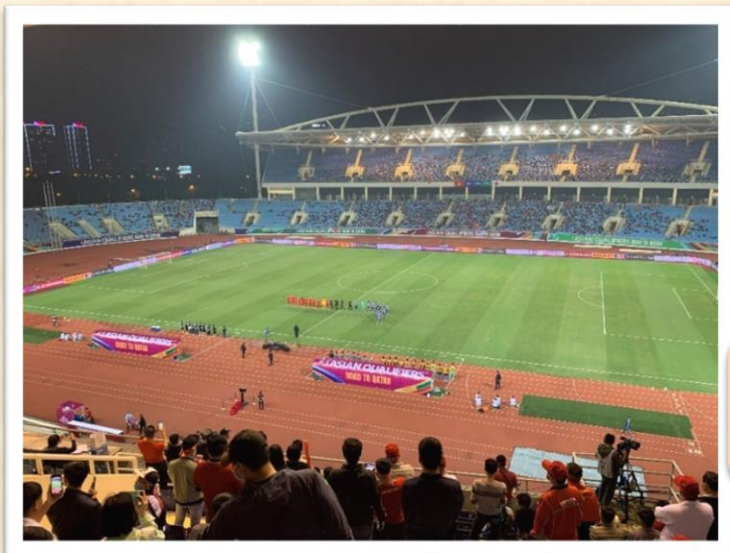
引っ越し先のアパート



レストランでの食事



ルームメイトの
中国人学生と



FIFA ワールドカップ予選
日本 対 ベトナムを友人と観戦